

ニユージェツク・上川さん

木社
夢土木
あすの
本

関西のゆめプロ発表最優秀



NPO法人あすの夢土木（理事長・大西有三京都大学名誉教授）と日刊建設工業新聞大阪支社の主催による「関西のゆめプロジェクト発表会」が2日、大阪市

中央区のOMMビルで開かれた「写真上」。8回目となる今回は国や建設コンサルタント会社、ゼネコンなど官民から49件の提案が集まり、最優秀賞にニユージェツクの上川一真さんが提案した「YODOGAWA MIRAI PARK」水と未来が見えるまちづくり計画」が選ばれた。

発表会は35歳以下の若手技術者からインフラ整備などに関する夢のあるアイデアを求め、将来のインフラ整備やまちづくりの参考にすることが目的。発表時間は2分で、あすの夢土木の学識者らがユニークさやスト

大西理事長から賞状を受け取る上川さん



リーの完成度、説明の分かりやすさなどを評価し、最優秀賞1点、優秀賞2点、夢土木賞5点を選んだ。

最優秀賞に選ばれた上川さんは、汚れた川をきれいにし、未来の技術者を育てる「YODOGAWA MIRAI PARK」を提案。子どもたちが楽しみながら川のごみ拾いを行える仕組みや土木に関心を持ってもらう施設を整備する。

上川さんは「土木に良い印象を持ってもらうことをテーマにした。川中トンネルの建設など子どもたちにも夢や興味を持ってもらう提案ができたと思う」と語った。

大津宏康京都大学名誉教授は「夢にも多様性があるが、今年の発表は担い手不足の対応や土木の認知度向上、次世代への伝承というテーマが多かった。若い方々が土木に夢を持って取り組む姿勢に感銘を受けた。今後も『夢』をキーワードに知的好奇心を喚起する機会を提供していきたい」と講評した。

最優秀賞以外の受賞者と発表テーマは次の通り。敬称略。

【優秀賞】
▽長谷部颯真（エイト日

本技術開発）「万博の象徴をもつ一度、関西をつなぐ大規模大屋根リング構想」
▽森万里笑（三井住友建設）「土木をもっと身近に。ドボチカプロジェクト」

【夢土木賞】

▽佐藤瑛典（ニユージェツク）「柔軟なインフラ構築の可能性、自由に移動できる橋梁の開発」
▽高橋尚也（奥村組土木興業）「新都市誕生！ナノテクノロジによる空中都市の実現」

▽前田結衣（協和設計）「水害に負けない！橋のまち」
▽北谷笑満花（近畿地方整備局木津川上流河川事務所）「遊水地で日本一の花火大会を開催しよう！」

▽田中悠聖（近畿地方整備局福井河川国道事務所）「命名権オークションを開催したい！」

▽田中悠聖（近畿地方整備局福井河川国道事務所）「命名権オークションを開催したい！」

